

道徳教育だよ



足利市立矢場川小学校
平成29年11月2日

小学校では、道徳が平成30年度から「特別の教科 道徳」になります。矢場川小では、昨年度から道徳教育の研究に取り組んでいるところです。10月24日には、2年・3年1組・5年で研究授業を行いました。

道徳教育は、学校教育のすべての場面で行いますが、その中心になるのが「道徳の時間」の授業です。児童の発達段階や実態に応じて、『自分の考えをもち、友達と学び合える「道徳の時間」』を目指しています。

今回は、10月24日に行った授業についてお知らせします。

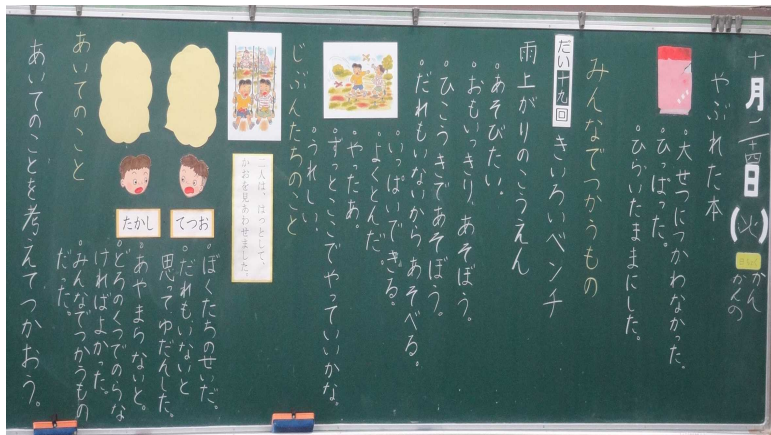
2年 道徳の授業「きいろいベンチ」

「きいろいベンチ」という教材を使い、『規則の尊重』について考えました。子どもたちは、公共施設などできまりを守って行動しなければならないということは知っていますが、実際の生活を見てみると、自分の欲望のままに振る舞ったり、自分勝手な行動をしたりということがあります。そこで、みんなが気持ちよく生活するために約束やきまりがあることについて考えました。



「きいろいベンチ」あらすじ

降り続いた雨がやみ晴天になったある日、たかしとてつおは公園に紙飛行機を飛ばしに行く。もっとよく飛ばしたいと考えた二人は、泥の付いた靴のままベンチに上がり、夢中になって紙飛行機を飛ばす。しばらくして、泥で汚れてしまったベンチに女の子が座り、女の子のスカートは汚れてしまう。ベンチに座った女の子におばあさんが話しかける言葉から、二人ははっとして顔を見合わせる。



たかしとてつおは公園に紙飛行機を飛ばしに行く。もっとよく飛ばしたいと考えた二人は、泥の付いた靴のままベンチに上がり、夢中になって紙飛行機を飛ばす。しばらくして、泥で汚れてしまったベンチに女の子が座り、女の子のスカートは汚れてしまう。ベンチに座った女の子におばあさんが話しかける言葉から、二人ははっとして顔を見合わせる。